

図. 2 AIプロダクション方式の構造

略号	意味
h	色相
v	明度
c	彩度

表. 1 略号対照表例

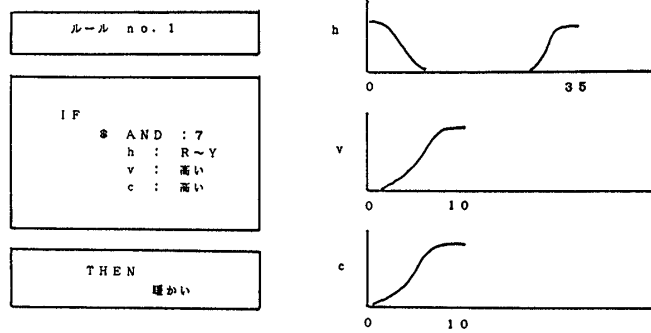


図. 3 ルール一覧表例

条件演算	意味	条件演算	意味
01	h	07	$h \cdot v \cdot c$
02	v	08	$h + v$
03	c	09	$v + c$
04	$h \cdot v$	10	$c + h$
05	$v \cdot c$	11	$h + v + c$
06	$c \cdot h$	12	.

表. 2 条件演算表例

次に、図. 2 に示したプロダクションメモリ構成の一例を図. 4 に示した。

条件演算	条件部			結論部
	色相 h	明度 v	彩度 c	
7				暖かい
7				冷たい
5				柔らかい
5				硬い

図. 4 プロダクションメモリ構成例

以上に示したシステム内容で、カレンダーに印刷されている絵の部分の色調イメージについて分析した例を発表当日紹介し、その考察を行う予定である。

3. おわりに

表題に示した通り基礎的研究の域を脱していない点もあるが、色調分析の大きな方向性は確立出来たものと判断している。

学際的領域の課題であり、今後さらに多くの事例を取り上げて検証して行く予定である。